

## NYマーケットレポート (2016年8月29日)

序盤に発表された米個人所得・個人支出がいずれも市場の予想通りの結果となったことから、やや限定的な動きとなった。そして、その後に発表されたダラス連銀製造業活動指数が予想以上の悪化となったことから、ドルは軟調な動きとなった。また、米国債券利回りが軒並み低下となったことから、日米の金利差縮小が意識され、ドル売り・円買いが優勢となり、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。

### 2016年8月29日 (月)

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	101.89	102.32	101.88
EUR/JPY	113.98	114.29	113.97
GBP/JPY	133.53	133.90	133.46
AUD/JPY	77.14	77.40	77.13
NZD/JPY	73.94	74.10	73.86
EUR/USD	1.1180	1.1193	1.1158
AUD/USD	0.7572	0.7582	0.7544

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18502.99	+107.59
S&P500	2180.38	+11.34
NASDAQ	5232.33	+13.41
日経225 (CME)	16700	+110
トロント総合	14682.01	+42.13
ボルサ指数	47599.12	+229.55
ボベスパ指数	58610.39	+894.14

#### 8/30 経済指標スケジュール

08:30	【日本】7月失業率・有効求人倍率
08:30	【日本】7月家計調査消費支出
08:50	【日本】7月百貨店・スーパー販売額
08:50	【日本】7月小売業販売額
10:30	【オーストラリア】7月住宅建設許可件数
15:00	【ドイツ】7月輸入物価指数
16:00	【スイス】8月KOF先行指数
17:00	【ポーランド】2Q GDP
17:30	【英国】7月消費者信用残高
17:30	【英国】7月住宅証券融資高
17:30	【英国】7月住宅ローン承認件数
18:00	【欧州】8月消費者信頼感
18:00	【欧州】8月サービス業信頼感
18:00	【欧州】8月業況判断指数
18:00	【欧州】8月鉱工業信頼感
21:00	【南ア】7月財政収支
21:00	【ドイツ】8月消費者物価指数
21:30	【カナダ】2Q経常収支
21:30	【カナダ】7月鉱工業製品価格
21:30	【カナダ】7月原料価格指数
22:00	【米国】6月S&Pコアロジック[総合20]
23:00	【米国】8月消費者信頼感指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1327.10	+1.20
NY 原油	46.98	+0.66
CMEコーン	320.75	-4.25
CBOT 大豆	964.25	-3.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.81%	0.84%
3年債	0.91%	0.95%
5年債	1.18%	1.23%
7年債	1.43%	1.49%
10年債	1.57%	1.62%
30年債	2.22%	2.29%

#### 8/30 主要会議・講演・その他予定

出所：SBILM

### NY市場レポート

#### ＜ 経済指標の結果 ＞

7月米個人所得 (前月比) 0.4% (予想 0.4%・前回 0.3%)  
 前回発表の0.2%から0.3%に修正

7月米個人支出 (前月比) 0.3% (予想 0.3%・前回 0.5%)  
 前回発表の0.4%から0.5%に修正

### 指標結果データ

#### ≪米個人所得・支出≫

	7月	6月	5月	4月	3月	2月
個人所得	+0.4	+0.3	+0.3	+0.6	+0.3	-0.1
賃金・給与	+0.5	+0.5	+0.4	+0.8	+0.1	-0.5
可処分所得	+0.4	+0.3	+0.3	+0.6	+0.3	-0.1
個人消費支出	+0.3	+0.5	+0.3	+1.1	+0.0	+0.2
個人貯蓄率	5.7	5.5	5.8	5.8	6.2	6.0

7月の米個人支出は、前月比+0.3%と市場予想を下回る結果となったものの、引き続き堅調な伸びとなった。一方、雇用の力強い改善を背景に、個人所得は+0.4%と5ヵ月連続で増加した。

①米FRBが物価の目安とする個人消費支出物価指数は、前年同月比で+0.8%となり、FRBが目標とする2%を引き続き下回った。変動の激しい食品とエネルギーを除いたPCEコア物価指数は、前年同月比+1.6%。

②個人消費では、耐久財が前月比+0.6%、非耐久財は-0.5%と5ヵ月ぶりのマイナス、サービスは+0.4%。

③税金の支払いを除いた可処分所得は+0.4%、貯蓄率は前月から0.2ポイント上昇の5.7%だった。

#### ≪経済指標の結果≫

8月ダラス連銀製造業活動指数 -6.2 (予想 -3.5・前回 -1.3)

#### ≪欧州株式市場≫

欧州株式市場は、米政策金利が早ければ来月にも引き上げられるとの観測が強まったことを背景に、主要株価は軟調な動きとなった。なお、英国市場はバンクホリデーのため休場だった。



出所：Bloomberg

◀ NY 金市場 ▶

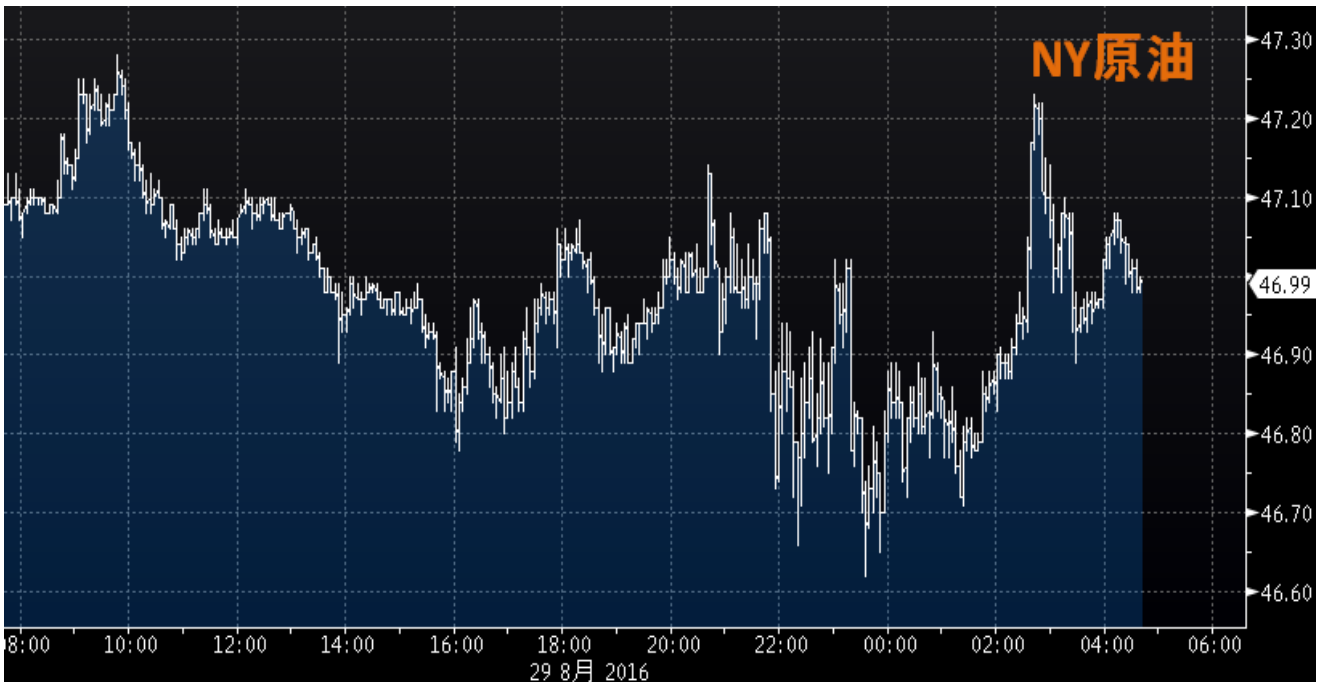
NY 金は、米国の早期追加利上げへの警戒感から売りが先行した。その後は、ドルが主要通貨に対して上げ幅を縮小したことをきっかけに、ドルの代替資産とされる金を買戻す動きも出てプラス圏で引けた。



出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、イラクの産油量増加への懸念に加え、米国の早期追加利上げ観測を背景にドル相場の先高観が強まっていることも、ドル建て原油の売り圧力となった。



出所：Bloomberg

◀ NY 債券市場 ▶

米国の早期追加利上げへの警戒感の高まりを背景とした前週末の下落で値頃感が出て、買い戻しが優勢となった。そして、利回りは軒並み低下が続いた。



出所：Bloomberg

◀ 米株式市場 ▶

米株式市場は、7月の米個人所得・消費統計がともに増加したことを好感した買いが先行した。また、前週後半にかけて続落した反動から買い戻しが入ったことも押し上げ要因となった。ただ、その後は上値の重い動きとなり、もみ合いの展開が終盤まで続いた。



出所：Bloomberg

## ◀外国為替市場▶

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標が予想通りの結果となったことから、反応は限定的となった。また、その後に発表された製造業関連の経済指標が予想以上の悪化となったことや、米国債券利回りが低下したことを受けて、ドル売り・円買いが優勢となった。ドル円・クロス円はやや軟調な動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。